**「山村の住居」 記録写真**

聞き取り調査で訪問した落合集落の高齢者はとてもお元気で，畑仕事はあたりまえ，山仕事にも出かけるという壮健ぶりであった。若い頃から山道を歩いて鍛えてきたことがよかったのだろう。しかし，足腰をわずらえば坂道や階段の多い環境は，生活しにくいのではないか。また，住宅内も段差は多く見受けられた。伝統的な民家に近い状態のままの住宅もあり，手入れも大変そうであった。

|  |
| --- |
| 写真１ 落合集落の全景祖谷川を挟んで向かいの中上集落から撮った写真。道路は左右に蛇行しながら一番上の家まで続いており，車で行き来できる。ただし対向できない箇所の方が多い。また，車の通れる道から，家までさらに生活道を歩かなければならない人も少なくない。 |

（１）落合集落全景

(２)生活道

↑

写真２

生活道１

奥

に見

えている家まで舗装道路から徒

歩

で約

15

分ほどかかる。人一人やっと通れ

る道幅できつい坂道も含

む。一人暮らしの

女性が周囲の畑

で野菜や豆などを栽培して

いる。

↓

写真３

生活道２

見えているのはこの集落の一番下の

祖谷

川沿いの舗装道路沿いの家

で丸い屋根は

郵

便局である。徒歩なら生活道の

方が便利で近

いと今でも利用する人は多い。

(３)道路から敷地へのアプローチ

写真４，５

舗装道路からのアプローチ

自宅にはこの階段を上らなければ到着しない。手

すりがついていてもかなり急

な傾斜の階段である。今

は

健康で，不自由はないということだが将来どうなる

のだろう？

(

４)出入り口周辺

写真６

上り框

どこの

家

も同様の

造りであるが上り框周辺

はあ幾段もの

段差が存在している。

←

写真８

勝手口

大

きい段差を解消するため，輪切りにし

た木を置いている。敷き物を敷いているの

は

，ここに

座って靴

を履

いたり作業をする

↑写真７

外縁周辺の段差

玄関ではないが，外縁も家人の出入り口

として利用している。ここは

隠居部屋として

利用している。

(５)風呂



|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| 写真９ 五右衛門風呂１五右衛門風呂をタイルで貼ったもの。浴槽がかなり高くて入りにくそうである。窓はサッシに変えてある。 |

 |

|  |
| --- |
| 写真10 五右衛門風呂２左側には，ベンチ状に木の台を設置して浴槽に入りやすい工夫をしている。窓はサッシに変えてあるが，かなり伝統的。 |

 |

(６)便所

↑写真11，12

便所１

上は便器自体を取り替えて洋式に，下

は

据置便器をかぶせてあるもの

。どちらも座り

やすく工夫している。水洗ではない。

→

写真12

便所２

床

と壁

をタイル

では

って洋式の

水洗便所

に

改築したもの。以

前

の

スペースをその

まま活用しているの

でちょっと狭い。

写真13

便所３

新築 の

家

なの

で完全な洋式便

所。手すりも設置

されているが，小

物

も多

く，マット

につまずきそうで

ある。

(

７)屋根

(

８)その他

←写真14

茅葺き屋根

↑写真15

トタン屋根

茅葺き屋根は

材料もなく，技術もすたれて

ほとんどがトタンで巻いている。中

の茅も，ほ

とんどの家で取り除いている

↓→写真16，17

モノレール

舗装道路から急

な傾斜を登

る家

で自家用のモノレールを利用してい

る。プロパンガスや

米など重い荷物

の

上げ

下ろしや

，人の

上り下りにも

利用している。

↑写真18

外縁

写真左側は

崖

である。奥

に

ある便所に

行

くため，夜

でも

この外縁を通るという。手

すり

も明

かりもなく，危険である。

↑写真19

蕎麦畑

蕎麦の栽培は山間高齢地に適しているた

め祖谷地方の

特産として有名である。また，

やせ地

でもよく育つ他，雑草の

抑制，地表被

覆

，土壌流出を抑

えるためにも適作である。

↑写真20

段段畑

急な傾斜地に小さな畑が

連なっている。し

かし，今は過疎化や高齢化のため，荒れ地が目立つようになっている。